

ウォーターフォール仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリル系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m²</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系珪酸シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> (<u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u>) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> (<u>...数字</u>) 特注色 <u>JP(W)-100</u> (<u>...英字、...数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	A色: 約11 m ² B色: 約20 m ²

A色(薄い色)は、下塗り、上塗りに使用。

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安: 約20~25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ(剣先ゴテ)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<ウォーターフォール仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2.主材 下塗り

・JP(W)-100 シーラー A色を無希釈で0.9kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3.主材 配り塗り

(A、B色)

配 合	<u>JP(W)-100シーラー</u>	20kg
塗 布 量	約2kg/m ² (A色、B色約1kg/m ² ずつ)	
施工道具	金ゴテ	
	A色、B色を等量ずつ定板の上へのせ、 2色を同量ずつコテでとり、混ざらない よう配り塗りしてください。(図-1)	

追いかけて(5分以内)

4.パターン付け

- ・金ゴテのエッジ部分に力を入れ、下から上へコテを動かして、パターン付けしてください。(図-2)
- ・パターン付けは、ランダムに行ってください。(図-3)

<施工のポイント>

- ・ A色・B色が混ざらないよう扇状に配り塗りしてください。

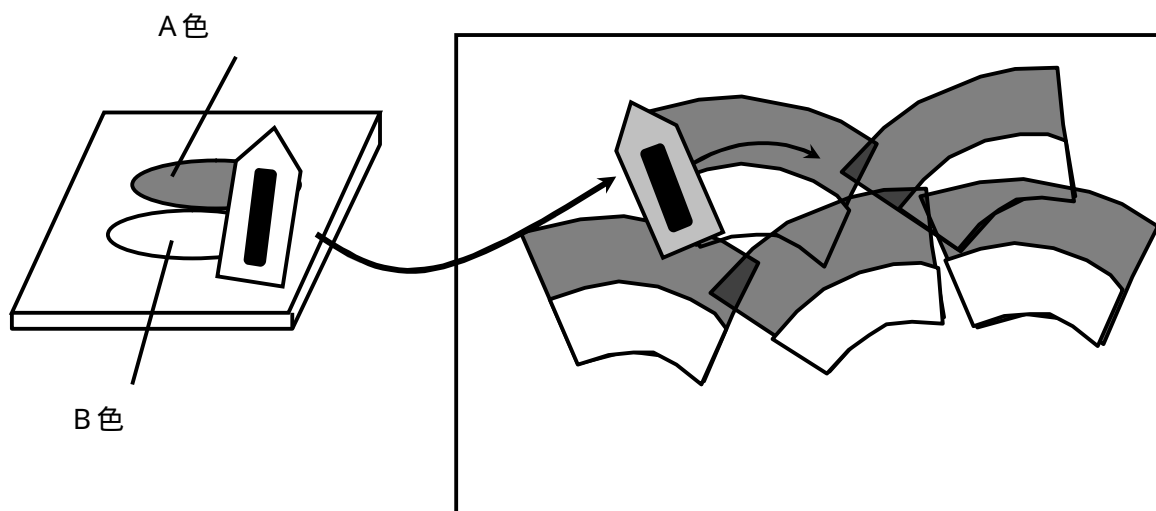


図 - 1

- ・ コテのエッジ部分に力を入れ、ジョリパットを下から上へ塗り延ばすような感覚で動かし、最後は手前にコテを跳ね上げるようにしてパターンを付けてください。(図 2)

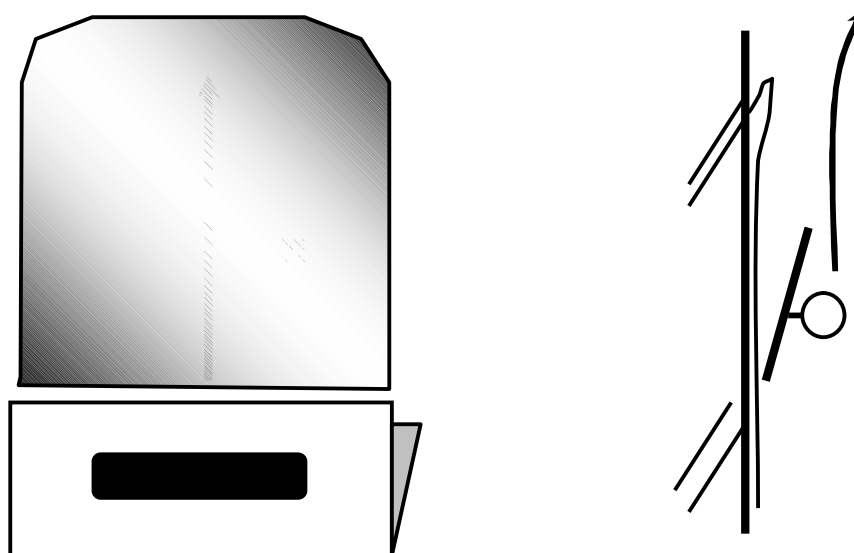


図 - 2

- ・ パターンが横方向にそろわないようにパターンを付けしてください。
- ・ 隣り合う模様がつながらないように隙間をあけてパターン付けを行ってください。

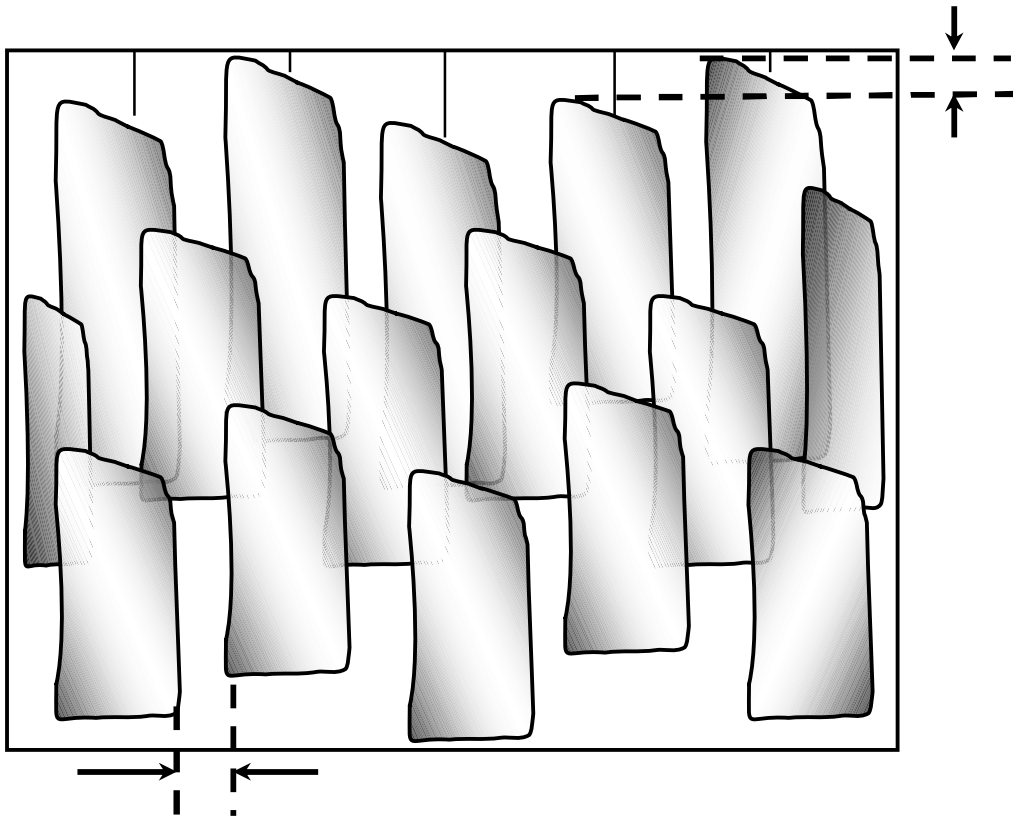


図 - 3

- ・入隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえるとキレイに納まります。（図 4）

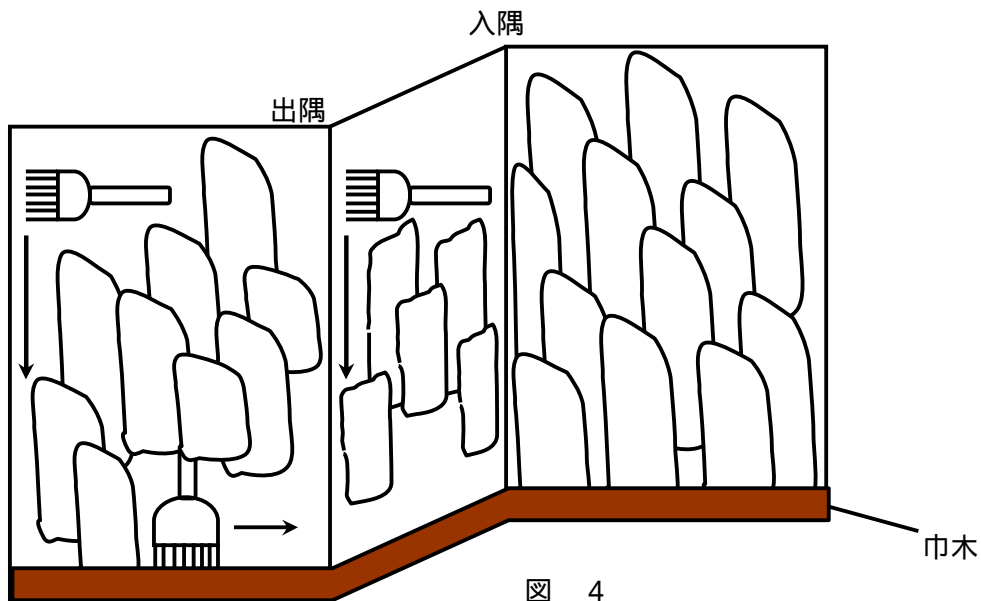


図 4

- ・何度もパターン付けをやり直すと、2色のジョリパットが混じり合い、色がぼけます。
- ・コテの大きさや形状によりパターンの大きさも変わります。意匠付けは同じコテで仕上げるようにしてください。

- ・何度もパターンの手直しをすると、ジョリパットが乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。

< 施工の注意事項 >

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用下さい。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上